



林 声

2020

3 月号



西粟倉村は、古くから林業の盛んな地域として、県内でもスギ・ヒノキの人工林率が高い地域です。

このような林業先進地において、森林所有者である影石地区の新田 一男（にった かずお）さんは、300年先の森を目指し、かけがえのない山を後世に残していくため、熱心に山仕事に取り組みられています。

（詳細はP 2 に記載）

目 次

大切に育まれてきたおかやまの森・人の技が光る森 （西粟倉村影石の森林）……………	2	技能講習等情報……………	10
生き活き！林務の現場 （高梁市農林課林業振興係）……………	3	林産物市況……………	11
おかやま森林・林業ビジョンの改訂……………	4～5	事務局移管のお知らせ（林防災・普及協会）…	12～13
ニューフェイスです！ （津山市森林組合 土井 紘易さん）……………	6	森林・林業施設の紹介（高妻山森林公園）……	14
普及指導区の情報（東備普及指導区）……………	7		
研修事業実施状況（林業普及推進班）……………	8		
山火事防止／美作市が県内初の経営管理権集積計画を策定 ……	9		

【ほっけ～木になる情報】

Q. 森林ボランティアや森づくり活動に取り組みたいのですが、活動への支援はありませんか？



大切に育ててきたおかやまの森
 ☆人の技が光る森☆

西粟倉村影石

新田一男氏所有林

〔勝英普及指導区〕



一 はじめに

西粟倉村は岡山県の北東端に位置し、兵庫県、鳥取県と県境を接する中国山脈の南斜面に開かれた谷あいの山里です。

当地域は、面積の約93%が山林で、その内の約84%をスギやヒノキの人工林が占める地域です。

二 新田一男氏の森林について

今回紹介する新田一男さんは、影石地区に約41haの山林を所有しておられ、そのほとんどが、スギ、ヒノキの人工林となっております。林齢は50〜80年生が中心で、1000年生を超える森林もあります。

林業経営への関わりは、新田さんが、16歳の頃から地元影石地区で植林などの山仕事を始められたのがきっかけでした。

当時は、雑木林が多かったことから伐採した木を、炭焼きに利用し、伐採跡地にはスギやヒノキの苗木を育て、御自身で植林されて

きたとのことでした。

その後、山仕事をしばらくされた後、約30年間、工場経営をされていましたが、その間も合間を見ている、朝早くから山に行き、植林や下刈りなどされてから工場の仕事に行くなど、熱心に山の手入れをされてきました。

工場経営を辞めた平成8年頃から本格的に山仕事を始められ、奥様と御一緒に山一筋に取り組んでおられます。

新田さんは山の手入れは、子や孫を育てる気持ちと同じで、小さいころ（幼齢林）から、愛情をもって育てることが大切で、しっかりと手をかけておくことが何より大事といわれます。

これまで作業員を頼んでの施業はされておらず、御自身で枝打ちや間伐など適期に手入れを行われています。現在、10m以上の枝打ちされた真つすぐな木が立派に成長しており、その木々の間を御自身で作設された作業道が林内の至るところに開設されており、搬出間伐に繰り返し利用されています。

今は植えた頃に比べ、木の価値が下がってしまい、木材価格は低迷しています。かなり早い時期から丹念に手をかけて育てれば、

それだけ価値のあるものが生まれるとのことでした。

今でも木を販売した際には、一緒に切り出した年輪に木の売買の価格を記載し、年輪から一年当たりの材価がいくらかを計算して楽しみながら木を育てておられるお話がとても印象的でした。



桧 長さ4m
 末口 40cm
 材積 0.640m³
 単価 190千円
 金額 121千円
 樹齢 90年
 121,500円÷90年
 =1,350円

搬出された材の年輪

新田さんの目指す山の完成型になるのは、300年ぐらいかかると語られています。途中の間伐する過程で50年生や100年生の良材を搬出しながら、最終的には一反当り、20本程度に仕上げる気

持ちで、良い木に育ててほしいと願われ、これからも山の管理をして自分の思い描く森を作っていく、子や孫に山仕事の夢を見せ続けたいと語られていました。



所有森林内の説明

三 最後に

新田さんが林業を営んでおられる西粟倉村は、村を上げて林業を基幹産業として、様々な取り組みがなされています。このような林業の先進地において、新田さんが語られた山への熱い思いとともに手入れされた山を未来に引き継がれるよう、私たち林業普及指導員が地域の林業に携わる方々と連携を密にし、今後も引き続き支援していきたいと思えます。

（林業普及指導員 福見 照芳）

生き
活き！ 林務の現場

高梁市産業経済部
農林課 林業振興係
〔高梁普及指導区〕

高梁市は岡山県の中西部に位置しています。中央を高梁川が南北に貫流し、豊かな森林と美しい自然に囲まれた農山村地域です。

高梁市の森林面積は約43千ha、森林率は78%ですが、人工林率は27%と低く、マツや広葉樹等の天然林が多くを占めています。

このため、高梁市の森林は木材生産だけでなく、山崩れなどの災害を防止する働きをもっている他、野外活動の場にもなっています。

今回は、高梁市役所で森林・林業に関する業務を行っている方々を紹介します。

一 森林・林業業務担当

高梁市の森林・林業業務は、農林課林業振興係の2名で行っています。

森林関係の計画作成や管理、森林関係の届出等の指導業務をはじめ、平成30年豪雨の災害復旧事業や森林経営管理制度の体制づくりにも注力されています。

また、高梁市は有害鳥獣対策室を設置しています。林業振興係の職員は有害鳥獣対策室と兼務しており、クマの目撃情報があれば、現地確認もされています。

二 森林経営管理制度への取組

昨年の4月から動き出した森林経営管理制度は市町村が主体です。高梁市でも森林所有者に森林管理の意向調査に向けた準備を進めています。

大切な森林をよりよい姿で残していくるように、担当者2名が森林組合、県の林業普及指導員と何度も打ち合わせを行い、管理体制の検討を重ねています。



打ち合わせの様子 高梁市の森林の未来を思い、議論が白熱します

三 企業との協働の森づくり

高梁市は、社会貢献、社員の環

境教育、レクリエーションの一環として森づくりに取り組み企業と協定を締結し、市有林の一部を企業の森として提供しています。今年度はアサヒ飲料(株)と協定を結び、高梁市有漢町に新たな企業の森が誕生しました。これで、高梁市で活動する企業は3社になりました。



企業の森 植栽後、バケツリレーで水の運搬 皆さん生き活きとした表情です

四 高梁市の森づくり

高梁市中井町の市有林では、林道を作設して主伐を行い、補助事業を活用して造林・保育に取り組みまれているとともに、市の予算による間伐も行い、「伐って・使って・植えて・育てる」サイクルでの森林管理を実践しています。

また、森づくり県民税を活用した市町村提案型事業では、高梁自

然公園や弥高山自然公園といった保健機能の高い森林において、松を保全するための樹幹注入や危険木伐倒事業を行っています。

五 担当者の紹介

高梁市の森林を支える林務担当の各々に、話を伺いました。

「平成30年豪雨災害の復旧業務が本当に大変。大きな山は越えたが、まだまだ復旧途中です。災害に強い山づくりを進めていきたい。防災という意味でも山の整備が進んでいけば、と感じています。」
(徳田係長)

「林務の仕事が始めたばかりの時に豪雨災害が発生し、その対応に追われ、いつの間にか2年経ってしまいました。森林環境譲与税を活用し、林業が活発になっていくと思われまので、さらに知識を深めて頑張っていきたいです。」
(河原主事)

六 終わりに

当普及指導区では、これから益々推進していく森林経営管理制度を始めとする高梁市の森林・林業行政に対する支援と情報提供を行っていききたいと考えています。

(林業普及指導員 渡邊 亜矢子)

森林保全

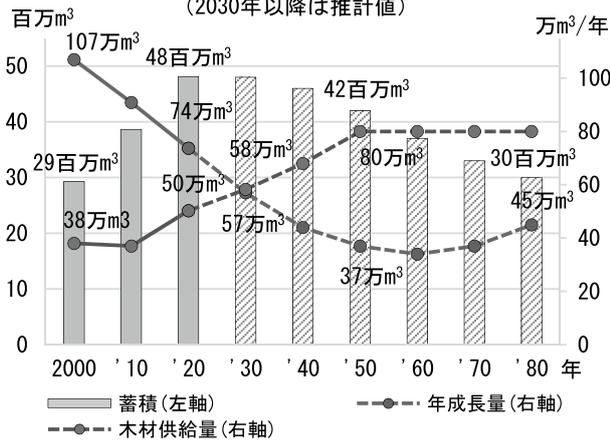
【現状】

- ・ニホンジカの生息域やナラ枯れ被害が拡大
- ・自主的に森林保全活動に取り組むグループや企業等が増加
- ・豪雨による山腹崩壊等の山地災害が多数発生

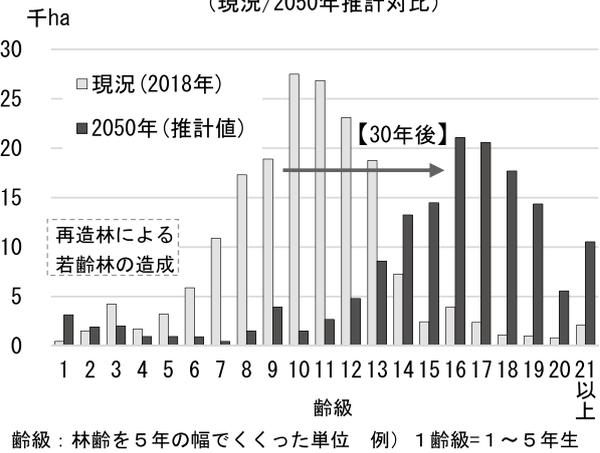
【課題】

- ・他県との広域連携等による継続的な森林病虫獣害の防除
- ・自主的な森林保全活動における指導的人材の育成や安全技術等の向上
- ・治山施設の設置や既存施設の維持管理、森林機能の保全

【民有林人工林の蓄積と県産材供給量】
(2030年以降は推計値)



【民有林人工林の齢級構成】
(現況/2050年推計対比)



《 施策の基本方針と施策体系 》

1 持続的な森林経営の推進

- 林業収益性の向上による生産活動の活性化
- 少花粉スギ・ヒノキへの植替えによる林業サイクルの循環
- 意欲と能力のある林業経営者の育成

2 循環資源である木材・木質バイオマスの利用推進

- 人と環境に優しい木材利用の推進
- 木材製品の品質向上と新たな木材利用

3 県民参加による森づくりの推進

4 快適な森林環境の創出

- 森林資源の適正な管理と花粉発生源対策の推進
- 森林機能の維持増進と防災対策の強化

(重点施策)

- ◆ 森林経営管理制度の推進
(森林の管理・集積と意欲・能力のある林業経営者の育成)
- ◆ 県産材の利用促進
(マーケティング戦略等による県産ヒノキ製材品・CLTの販路拡大)
- ◆ 花粉の飛散低減の推進
(広域連携による少花粉スギ・ヒノキへの植替えの促進)



【CLTによる木造建築(保育施設)】



【林業経営者の育成】

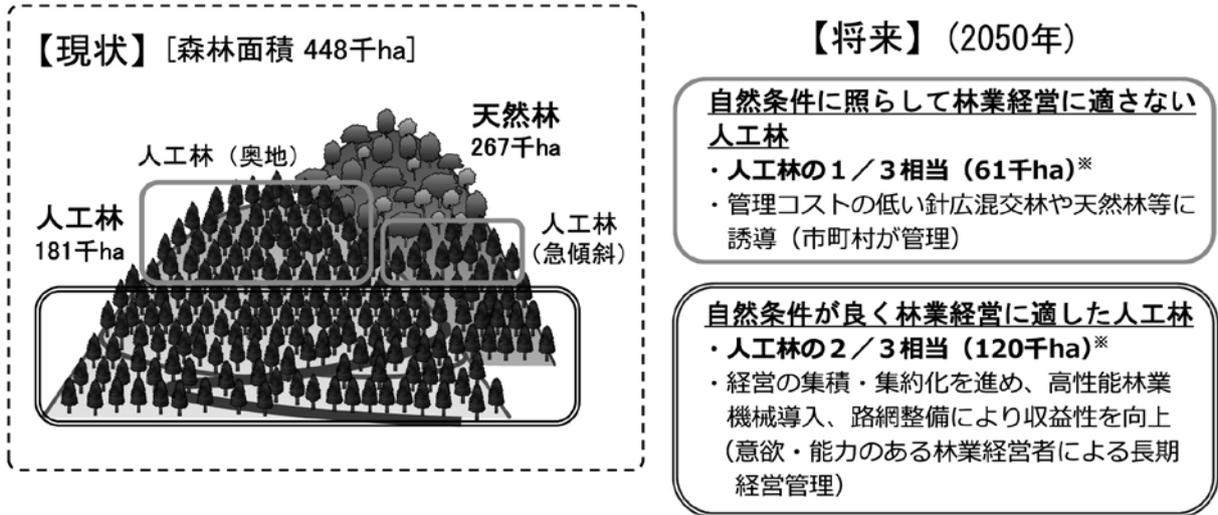


【針広混交林への誘導】

21 おかやま森林・林業ビジョンの改訂について

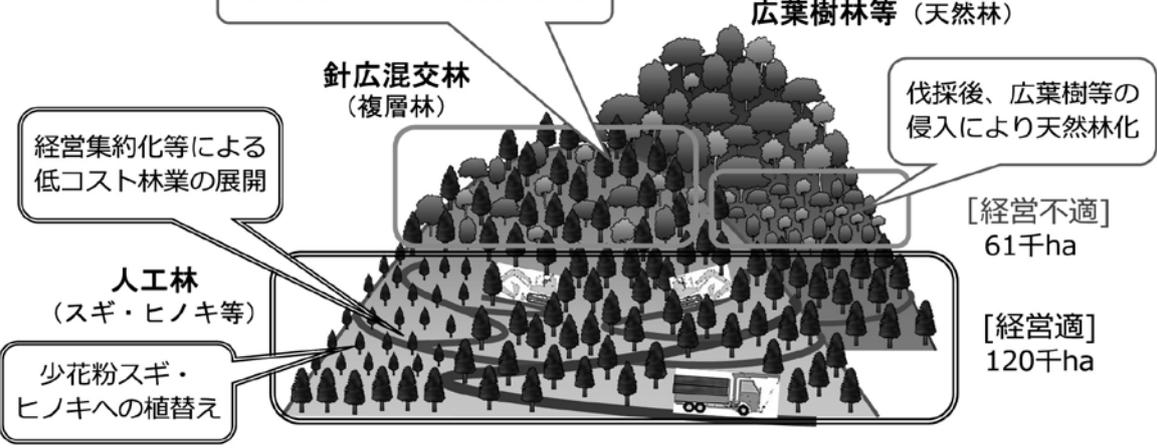
本県の2050年の森林・林業の姿を描き、その実現に向けた施策の基本方針を示した「21 おかやま森林・林業ビジョン」について、森林や林業を取り巻く社会や情勢の変化を反映させた見直しを行い、改訂しました。
(計画期間：令和2(2020)年度～11(2029)年度)

《 2050年の森林・林業の姿 》～経営管理に着目した森林の区分～



強度間伐の後に広葉樹を育成

※ 現況(2018年)の人工林資源から推計



《 現状と課題 》

林業経営

- 【現状】**
- ・ ヒノキを主とする人工林の蓄積は48百万m³となり年々充実
 - ・ 若齢林の面積が極端に少なく年成長量は減少傾向
 - ・ 林業就業者数は横ばい、39歳以下の割合が上昇傾向

- 【課題】**
- ・ 森林を集積・集約化して伐採を行い、少花粉スギ・ヒノキ苗木による再造林を行い森林資源を回復
 - ・ 森林の経営管理を担う市町村を支援
 - ・ 意欲と能力のある林業経営者や技術力のある林業従事者を育成

木材生産

- 【現状】**
- ・ 木材需給量は40万m³程度で推移し燃料用木材が年々増加
 - ・ 人口減少等により、住宅用の木材需要は減少見込み

- 【課題】**
- ・ 中高層建築物等への新たな需要が期待されるCLT等の利用を促進
 - ・ 品質と性能に優れた県産製材品の販路拡大

ニューフェイスです

津山市森林組合

土井 紘易さん (26歳)

【津山普及指導区】

津山市森林組合に務める土井さんをご紹介します。

土井さんは平成29年9月から事務職員として勤務する、3年目のニューフェイスです。

主な勤務地である津山市森林組合本所で、お話を伺いました。



津山市森林組合 土井 紘易さん

一 経歴

土井さんは、津山市(旧勝北町)の出身です。

小学生の頃、近所のスポーツカーに乗る憧れのお兄さんが林業事業体で架線技術者として活躍しており「林業をしたら将来乗れるようになるよ」と言われたのを受け、林業という職業に憧れを持つようになったそうです。

高校進学時には、林業技術者としての夢を実現させるため、勝間田高校グリーン環境科へ進み、卒業後も、より深く林業の知識や技術を取得したいとの思いから島根県立農林大学校に進まれたそうです。

2年次の専攻実習においては、森林エンジニアコースを選択し、午後からは全て現地実習という学生生活を送ってこられたそうです。

卒業後は、島根県内の森林組合にフォレスターとして就職され、子供の頃の夢を実現させましたが、「自分が今まで習得した技術を地元津山の森林整備に役立てたい」との思いが強くなっていく中、兄弟が県南に就職し、実家を継ぐことになったのを契機に、津山市森林組合に就職することを決められたそうです。

二 仕事の内容

現在は、事務の仕事がされています。就職した当初はフォレスターとして現場作業に従事したいとの思いも強かったようですが、徐々に、除伐や枝打ちの見積り業務を任せられるようになり、「組合の経営や、組合員さんの利益に直接関わる業務であり、難しさもあるが、やり甲斐を感じている」と話されていました。



事務所でパソコンに向かう土井さん

取材の最後に、趣味について尋ねたところ、自宅の竹林整備とタケノコ掘りとのことでした。「子供の頃は、スポーツカーと林業に憧れていましたが、今は林業一筋です」と笑顔で話されました。

四 上司からの一言

本所の福田参事に何うと「造林補助金の申請や見積り業務など、丁寧に根気強く取り組んでいる。

これからも、今までの現場作業に従事した経験を生かし、様々な業務に積極的に取り組み、組合員の皆様から頼られ、信頼される職員になつてもらいたい」と話されました。

五 おわりに

お話を伺っていると、小学生の頃から林業に対する一貫した思いが伝わり、非常に頼もしく感じました。

土井さんの今後益々の御活躍を期待するとともに、当普及指導区としても、支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 大西 俊和)

三 抱負

今後の抱負を何うと、「早く諸先輩方のように除伐、枝打ちだけでなく、間伐の見積りを任せられるようになりたい」と力強く話されました。

普及指導区の情報

積み木による木育活動

【東備普及指導区】

ヒノキの積み木について

東備地域森林課では、木育活動推進のため備前県民局森林企画課と共同で平成29年にヒノキの積み木を制作し、市町への長期貸し出しとともに、地域のボランティアグループ等への短期貸し出し、イベントでの出張木育を行っています。

積み木は、児童用と乳幼児用の二種類あり、乳幼児用は誤飲防止のため少し大きめで、角を丸めています。(2017. 7林声No.454に関連記事)

積み木の利用状況について

一 長期貸し出し

現在、管内3市町(赤磐市、備前市、和気町)に長期貸し出しを行っており、保健センターや認定こども園などで活用されています。

一例を挙げると赤磐市の山陽保健センターでは3歳児までを対象とした親子教室を毎月開催して

り、積み木を様々な遊びに活用しています。保護者の方にも天然素材の肌触りやヒノキの香りが好評です。

二 短期貸し出し

この積み木は短期の貸し出しも行っており(併せて木製タイルも貸し出し可能、備前県民局管内(東備地域含む)の公共の場で利用される団体には無料でお貸しします。詳しくは備前県民局のホームページをご覧ください。

【備前県民局 積み木】で検索

(<http://www.pref.okayama.jp/page/501179.html>)

東備管内でも毎年、子供NPOなど地域の団体へ貸し出しを行っています。リピーターも多く、ヒノキ素材の持つ魅力が浸透しつつあります。

三 出張木育

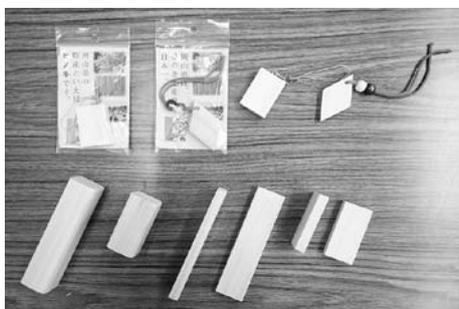
本年度は和気町の「和気健康福祉フェア」(10月13日、和気ドーム)、赤磐市の「あかいわ祭り」(11月3日、赤坂ファミリア公園)、備前市の「市民ふれあい福祉祭り&こども応援フェスタ」(11月9日、備前市総合運動公園)の3イベントに参加し、木育活動を行いました。

イベント会場では、床にヒノキ

の木製タイル(既製品500×500mm)を敷き、その上で子供たちをヒノキの積み木で自由に遊ばせます。普及指導員は積み木の完成サンプル写真を用い、子供の創造力を高めるよう工夫するなどしています。

遊び終わった子供にはヒノキのキーホルダー(オリジナルの非売品)をプレゼントしています。このキーホルダーの袋には紙ヤスリを入れており、ヤスリをかけることで、ヒノキの香りを復活させることができます。

また、来場者向けにヒノキのPR動画を上映して、木に対する理解を深めてもらうとともに、付き添いの保護者の方には木造住宅や木製品の良さについてパネル等でPRをしています。



上段: キーホルダー
下段左: 乳幼児用 (27×27×108・54mm)
下段右: 児童用 (9×27×108・54mm)

今後の目標について

子供にとって実際にヒノキの材に触れ、香りを嗅ぐという体験は、多くの言葉を並べるよりも記憶に残ると思われれます。また、子育て世代の保護者の方に向けても、積み木はヒノキの良さをPRできる効果的なツールです。また、最近では各種研究機関による研究がなされ、木材が人体に与えるよい影響について科学的なデータが蓄積されつつあります。

今後、普及指導員として県産ヒノキの需要拡大につなげるためには、科学的なデータによる根拠が重要で、最新の研究情報の把握を行い提供していきます。

(林業普及指導員 阿部 剛俊)



和気健康福祉フェア

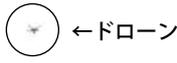
**森林経営管理制度推進
のための新たな研修**

一 はじめに

今年度から始まった森林経営管理制度に取り組み市町村等への支援として、林政課及び県農林水産総合センター（普及推進課林業普及推進班）において、毎年実施している研修に加え、新たに市町村職員や森林整備を担う林業経営体等を対象とする研修を実施しました。

二 市町村職員等向け研修

市町村職員等を対象に、森林・林業に関する知識等の習得を目的に4日間の研修を実施しました。



市町村職員等研修

4日間の研修内容

研修の名称	研修事項	主な内容	実施日
市町村職員等研修 講義①	・森林計画制度 ・森林法令 ・森林経営管理制度 ・森林経営	・森林経営管理法の概要 (経営管理意向調査、経営管理権集積計画) ・市町村森林整備計画（ほか）	5/24
市町村職員等研修 講義・実習②	・森林整備	・作業道作設技術の基礎知識 ・路網の整備状況（実習） ・造林、育林技術の基礎知識 (少花粉コンテナ苗、省力化施業など) ・造林、育林の実施状況（実習）	7/18
市町村職員等研修 講義・演習③	・森林法令 ・森林整備	・保安林制度 ・林地開発許可制度 ・森林整備事業費の構成 ・伐木造材作業の基礎と安全管理	9/18
市町村職員等研修 講義・演習④	・森林情報の活用	・林地台帳の整備、運用 ・森林GISの活用	11/14

研修の内容は森林経営管理制度を進める上で必要となる法律制度や、間伐等の施業方法を主体とした研修とし、講師は、現場の林業普及指導員が務めました。現地研修では、国有林で作業道や植栽、ドローンをはじめとしたICTを使った森林資源調査を実施しました。

また、この研修は地域林政アドバイザー研修を兼ねており、全研修課程を受講した11名には修了証を交付しました。なお、この研修は、複数年度での受講も可能で、4日間を受講すれば修了書を交付する予定です。

また、この研修は地域林政アドバイザー研修を兼ねており、全研修課程を受講した11名には修了証を交付しました。なお、この研修は、複数年度での受講も可能で、4日間を受講すれば修了書を交付する予定です。

三 森林組合等林業経営体向け研修

森林経営管理制度による施業の受け皿となる森林組合・民間事業者の育成を図るため、林業経営体代表者等を対象に、森林経営管理制度の基礎知識や、人材育成、チームビルディング、コミュニケーション能力の向上等の研修を実施しました。

林業経営体向け研修内容

研修の名称	主な内容	実施日
森林組合職員・林業経営体職員研修 「森林経営管理制度全般」	・制度の概要 ・意向調査実施の実務	7/2
	・労働安全衛生規則の概要 ・現場管理者の責務	7/4
林業経営体代表者等研修		
「組織を強くする職場のコミュニケーション研修」	・コミュニケーション能力 ・リーダーシップ	10/21
「森林経営管理制度対応！説明力向上研修」	・説明能力向上	10/25
「人材が定着する職場をつくるチームビルディング研修」	・チームビルディング ・生産性向上	11/21
「モチベーションを上げる部下育成研修」	・指導方法（コーチング） ・モチベーションの向上	11/22
「イノベーションの方向性」	・優良事例から学ぶ 林業の収益力向上への取組 木質バイオマスの利用の取組	1/16

また、川上・川下の連携に視点を置いた研修では、先進的な経営体からICTを使った丸太材の木取りや、バイオマス利用についての講義があり、地域が一体となって取り組む重要性を認識していただきました。

四 おわりに

県では、市町村、林業事業者等を対象にした研修を、来年度も継続して実施し、一層の支援に努めてまいります。

（普及推進課 林業普及推進班）



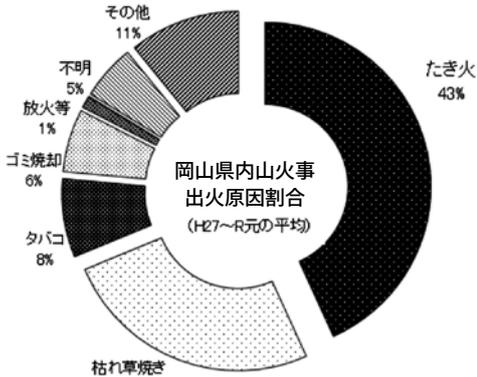
林業経営体代表者等研修 説明力向上研修の一場面

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の啓発を図っています。

県内では、過去五年間に259件の山火事が発生し58畝の緑が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きといった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしまいます。

今年の全国統一標語は「守りた森と未来を 炎から」です。

山火事を防ぐ6つのポイントに注意して、大切な森林をみんなどで守り、未来へと引き継ぎましょう。



- ※山火事を防ぐ6つのポイント
- 強風・乾燥時はたき火をしない
- たき火の後始末は完全に一人ではない
- 枯れ草焼きやあぜ焼きなどは一人ではない
- タバコの投げ捨てはしない
- 子供の火遊びはダメ
- 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課 保全班)

美作市が県内初の経営管理権集積計画を策定しました

美作市は、今年度から始まった森林経営管理制度について広報誌及びケーブルテレビで紹介していたところ、森林所有者から経営管理権集積計画作成の申出があり、令和元年11月、岡山県では初となる経営管理権集積計画の公告を行いました。

今回の場合は、経営に適さない森林と判断され、市が直接、管理を行っていきます。

【経営管理権集積計画】
計画地：美作市真神地内
(旧英田町)

面積：6.53ha (2筆)
所有形態：社寺有林
樹種：その他広葉樹
計画期間：15年

令和元年12月から約2か月かけて、同集積計画に基づき、森林環境譲与税を活用した森林整備(除伐)が0.31ha、行われました。今後も集積計画に基づき、経営管理していく予定になっています。

また、美作市においては、森林経営管理制度の円滑化のため、岡山県の森林経営管理制度人材バンクを活用し、林業経験豊富な林野庁OBを雇用し、森林の状況の把握等を行うなど、積極的に新制度の推進が進められています。

今後、当普及指導区では、森林経営管理の円滑な推進がより一層図られるよう、引き続き市町村に対して総合的な支援をしていくこととしています。

(勝英普及指導区)



技能講習会の開催 (4月~6月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月14、15日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	5月28、29日	
玉掛け	岡山	4月2、3日、5月7、8日	
	新見	5月21、22日	
	津山	5月26、27日	
フォークリフト運転	岡山	4月8日、5月13日	
	津山	4月15日、5月22日	
はい作業主任者	倉敷	6月3、4日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332

伐木等の業務（大径木）特別教育修了者を対象とした補講

開催日	会場
令和2年5月28日（木）	岡山県安全衛生会館

※受講履歴等の問い合わせ先：岡山県労働基準協会 講習担当 TEL 086-221-2260

【共販日（記念市）のご案内】 岡山県森林組合連合会



- 4月9日（木）津山木材共販所 開設58周年記念市
- 4月23日（木）新見木材共販所 開設56周年記念市
- 4月28日（火）勝山木材共販所 真庭木青協特別市
開設54周年記念市



◆各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。

乾しいたけ春季特市（予定）



引き続き出荷者の皆様には出荷量に対する運賃助成をさせていただく予定です。
選別作業も当会で行いますので、多数のご出荷をお願いします。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



林産物市況



木材 (2月19日)

・出荷量 約2,200m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	11	—	杉概況 【3 m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 【4 m】 中目材 横這い 元 木 横這い
		18~20	11	—	
		22~28	11	—	
	4 m	18~22	10	—	
		24~28	10	—	
6 m	16~18	13	—	横這い	
桧	3 m	14~16	18	14	桧概況 【3 m、4 m】 柱 材 弱含み 中目材 弱含み 元 木 横這い
		18~20	15	14	
		22cm上	15	14	
	4 m	14~18	18	16	
		20~22	15	14	
		24~28	15	14	
		30cm上	15	14	
	6 m	16	24	—	
		18~20	28	24	
		—	—	—	
松	3 m	18~22	10	8	松概況 横這い
	4 m	18~22	11	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (2月)

樹種	寸 法	等級	区分	安値 ~ 高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	55,000(直送) ~55,000(市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000(直送) ~55,000(市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	68,000(無背割)~
	正角 3 m 12cm角	特等	K	65,000~
マツ	平角 4 m 10.5~12cm ×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	55,000~ 65,000(バラ出し)
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	62,000~ 63,000(バラ出し)
アカマツ 北洋	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	68,000 ~72,000
ホワイト ウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	52,000 ~55,000

注1：価格は、岡山県内の市場等の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

おかやまの木で家づくり支援事業

✓助成金額：最大24万円/戸
✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

詳細はコチラ
<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549

林業・木材製造業労働災害防止協会岡山県支部の事務局が（公財）岡山県林業振興基金に変わります！

林業・木材製造業労働災害防止協会岡山県支部（以下「林災防」）の事務局は、一般社団法人岡山県労働基準協会内にありましたが、林業労働災害の根絶に向けた労働災害防止活動をより一層活性化するために、令和2年度から公益財団法人岡山県林業振興基金が事務局を行います。

このことに伴い、次のことに重点的に取り組んでいくこととされています。

・伐木等の業務及び刈払の業務に係る特別教育の実施

林災防は、平成27年度まで実施していた特別教育を復活させ、林業の視点を前面に打ち出した講習が実施されます。

・林災防会員への情報提供

林災防の会員の皆様へ、岡山県の独自取組を含めた年間計画等の情報が提供されます。

また、同支部ホームページを今後整備し、令和2年4月から

実施する各種講習会の開催案内、災害防止対策に関する情報等が掲載されます。

・振動障害予防のための特殊検診等の定着促進事業等

全国規模で実施されている振動障害予防のための特殊検診等は継続されます。

これまで当協会の趣旨に賛同いただいている会員の方を含め、林業における安全で快適な職場づくりを実現するための事業を積極的に展開していくこととされています。

林業・木材製造業労働災害防止協会岡山県支部事務局

（一社）岡山県労働基準協会

↓ R2年度～

（公財）岡山県林業振興基金

【お問い合わせ先】

（公財）岡山県林業振興基金
岡山市北区岡南町2-5-10
（岡山県森林組合連合会内）

☎（086）225-9382

（林政課 普及指導班）



CT-500C
*GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

ほっけー木になる情報

A. 県では森づくり活動（植樹、保育、炭焼き等）や森林内でのイベント（森づくり体験、自然観察会等）開催などに取り組みられている団体や企業等に対して、おこやま森づくり県民基金事業（上限30万円）により支援しています。また、国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業（上限500万円）など、様々な森づくり活動への支援制度があります。

各事業の詳細（支援要件等）については、最寄りの県民局森林企画課、又は、地域森林課までお問い合わせ願います。

また、おこやま森づくりサポートセンターでは森づくり活動に必要な知識や安全に活動するための研修会を開催しているほか、ヘルメットや手鎌など資機材の無料貸出や森づくり相談窓口を開設するなど、森づくりに取り組まれる方に対して全面的にサポートしています。

詳しくは、同センターホームページをご確認ください。

HP:

<http://okayamamoriso.jp/>

岡山県林業改良普及協会の事務局が岡山県森林組合連合会にかかります！

令和2年4月1日から林業改良普及協会の事務局が、県農林水産部林政課から岡山県森林組合連合会（以下「県森連」）にかかります。林声等書籍の発送や会費の請求、森の応援スタッフの派遣など、これまで県林政課で担っていた業務を県森連が受け持ちます。

県林政課は、県庁支部となりませんが、これまでと同様に、各県民局・地域森林課にある普及協会各支部と連携し、各地域の林研活動などを支援してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

県林政課

岡山市北区内山下2-4-6

☎ (086) 226-7451

県森連

岡山市北区岡南町2-5-10

☎ (086) 222-7671

(岡山県林業改良普及協会事務局)

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



—— 安全・人と自然・調和 ——

美林を育てる

〔林地除草剤〕 ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕 くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕 バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

TEL. 086-292-5525

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL. 06-6384-1288

林声

令和二年三月一日（第四七〇号）
（隔月一日発行）



竜王岳からの眺望

この公園は、井原鉄道井原線矢掛駅から北東約2kmの高妻山（標高380m）の山頂に位置し、保健保安林、鳥獣保護区等に指定されている森林公園です。

園内には、野鳥の森や町民の森などと名付けられた17のエリアがあり、サザンカやウメモドキなどの鳥餌木の植栽地や遊歩道、案内板が整備されています。

南側尾根先の竜王岳（大岩）や記念の森からは、眼下に小田川と矢掛の町並みが一望でき、遠くは瀬戸内海も望めます。

「高妻山森林公園」

森林・林業施設の紹介

周辺には水洗トイレやシャワーを備えた「亀島キャンプ場」や県内3社が取り組む「企業との協働の森づくり」の活動森林があり、公園とあわせて自然とふれあい心身をリフレッシュすることが出来ます。

ぜひ、駅から歩いて登れる山としても人気のある高妻山森林公園を訪れてみてください。

（井笠普及指導区）



亀島キャンプ場



サザンカ林の遊歩道

編集 発行
〒700-8570 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。